

令和5年度 第2回 学校運営協議会



【火おこし体験（6月）】



【町探検（6月）】



【花壇ボランティア（7月）】

日時：令和5年9月15日(金) 10:00～12:00

場所：浜松市立可美小学校 会議室

次 第

- | | | |
|---|---|--------|
| 1 | 開会の言葉
・開催要件の確認
・日程説明 | 10:00~ |
| 2 | 会長挨拶 | 10:05~ |
| 3 | 校長挨拶 | 10:10~ |
| 4 | 授業参観 | 10:20~ |
| 5 | 議長選出 | 11:00~ |
| 6 | 前回会議録確認 | |
| 7 | 熟議
(1) 学校評価の中間報告について

(2) 地域と連携・協働した教育活動について | 11:05~ |
| 8 | 連絡
(1) 活動報告
(2) 次回 令和5年12月14日(木) 10:00~12:00 会議室
(3) 次回議長の選出 | |
| 9 | 閉会の言葉 | 12:00 |

第2回 学校運営協議会出席者名簿

学校運営協議会委員

会長	須佐 勝己
副会長	大畑 尉智子
委員	小野田 哲也
委員	内山 和博
委員	田中 亜希子
委員	中村 精志
委員・学校支援コーディネーター	河合 さくら
委員・学校支援コーディネーター	高柳 桃子

オブザーバー

浜松市議会議員	小野田 康弘
可美協働センター	土屋 明久

学校

校長	中村 孝夫
教頭	夏目 聡美
主幹教諭	藤井 光広
CS担当教職員	長谷川 明美
CSディレクター	河合 昭子

浜松市教育委員会

教育総務課	鈴木 陽子
-------	-------

学校運営協議会 年間計画

令和5年4月1日～令和6年3月31日

※ 委員の過半数の出席がないと開催できません。

※ 感染症の感染拡大防止等、状況により、開催が中止、あるいは延期になる場合があります。

回	日時 会場	主な内容 熟議のテーマ 等	備考
1	令和5年 5月17日 水曜日 10:00～12:00 会議室	熟議テーマ (1)学校運営の基本方針について 説明 ⇒ 熟議 ⇒ 承認 (2)夢育やらまいかCS加算分についての 意見書について	
2	令和5年 9月15日 金曜日 10:00～12:00 会議室	熟議テーマ <input type="checkbox"/> 特色ある学校づくり <input type="checkbox"/> キャリア教育の実践について <input type="checkbox"/> 学校評価アンケートの項目の検討 <input type="checkbox"/> 学校の抱える課題と改善策 <input type="checkbox"/> 支援策の具体化	
3	令和5年 12月14日 木曜日 10:00～12:00 会議室	熟議テーマ <input type="checkbox"/> 特色ある学校づくり <input type="checkbox"/> キャリア教育の実践について <input type="checkbox"/> 学校評価アンケートの項目の検討 <input type="checkbox"/> 学校の抱える課題と改善策 <input type="checkbox"/> 支援策の具体化	
4	令和6年 2月6日 火曜日 10:00～12:00 会議室	熟議テーマ <input type="checkbox"/> 学校関係者評価 学校の自己評価説明⇒改善策につ いて熟議⇒次年度へ <input type="checkbox"/> 次年度学校運営の基本方針について <input type="checkbox"/> 学校運営協議会の自己評価 <input type="checkbox"/> 夢育やらまいかCS加算分の報告	

令和5年度 第1回可美小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年5月17日（水）10：00～12:00
- 2 開催場所 可美小学校 会議室
- 3 出席委員 須佐勝己会長 大畑尉智子副会長 内山和博 田中亜希子
中村精志 河合さくら（学校支援CD兼務） 高柳桃子（学校支援CD兼務）
- 4 欠席委員 小野田哲也
- 5 オブザーバー 小野田康弘（浜松市議会議員）
土屋明久（可美協働センター長）
- 6 学 校 中村孝夫（校長） 夏目聡美（教頭） 藤井光広（主幹教諭）
長谷川明美（CS担当教諭） 河合昭子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木陽子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 河合昭子
- 10 開催要件の確認 司会の夏目教頭から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。
- 11 会長挨拶 昨年度の学校運営協議会評価より、本年度の方向性が示された。
- 12 浜松市学校運営協議会規則の確認
教育総務課 鈴木陽子氏より浜松市学校運営協議会の規則について確認があった。
- 13 議長の選出 司会の夏目教頭より、議長の選出について委員に意見を求めたところ
大畑委員より須佐会長を推薦する旨の意見があり、全員異議なく承認した。
- 14 協議事項 (1) 学校運営の基本方針について
(2) いじめ防止のための基本的な方針について
(3) 夢やらまいか事業CS加算分に対する意見書について
- 15 会議記録
(1) 学校運営の基本的な方針について
学校経営方針に基づき校長から説明があった。

それについて委員から、以下の発言があった。

○器楽部が今年度で終了とのことだがその理由は？（田中委員）

→部活動の地域移行が進んでいる社会状況である。また、会議等で放課後の時間の確保が難しくなっている。（校長より）

○CSを進めていくにあたり、学校側からのニーズを教えてほしい。（須佐会長）

→地域学習で、地域を良く知っている委員の方々に情報を提供してほしい。

（長谷川教諭より）

○畑での活動が今年度よりなくなった。どうすればいいか？（高柳委員）

→3年生から始まる総合的な学習で、お店や人、地域ならではの良さを教えてもらいたい。（長谷川教諭）

→5年生家庭科のミシンの学習で支援してくれる人があるとよい。（長谷川教諭）

○ボランティアをどこまで募集するのか。保護者ばかりにお願いしてもいいのか。

（河合委員）

→ねらいにあった活動にしたいので、学校の先生と相談するのがよい。（長谷川教諭）

○子供の親世代以外の方をお願いするのがよい。地域との関わりが生まれる。

保護者ばかりだと地域学習とは違ってくる。（大畑委員）

○ミシンのない家庭も増えている。地域ボランティアをどのように集めるか検討していきたい。（須佐会長）

○学年を問わず（自分の子の学年以外も）ボランティアを募集するのがよいのではないか。

（田中委員）

○ボランティアの募集方法について 自治会や協働センターにも協力頂いてはどうか？

（須佐会長）

→花壇整備ボランティアを募集したいと考えている。協働センターで花壇ボランティアをされている佐野さんが小学校の花壇にも来て下さる予定である。（校長）

○全てをすぐには実行することは難しいけれど、少しずつ実現していきたい。（須佐会長）

(2) いじめ防止のための基本的な方針について

資料に基づき、藤井主幹教諭より説明があった。

(3) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について。

CS設置校への加算金6万円の用途について夏目教頭より説明があった。

学校教育目標の達成のため、発達支援学級対象の「太鼓教室」、花壇ボランティア。第一線で活躍する大人の姿に触れる。本物に触れる体験（昨年度は落語家、大工さんに来ていただいた。）等のために使いたい。

全員一致で用途について承認された。

16 その他連絡事項

(1) 次回 令和5年9月15日（金）10:00～12:00 会議室

(2) 次回の議長について

須佐会長より第1回と第3回は須佐会長、第2回と第4回は大畑副会長との提案があった。

次回の議長は大畑副会長。

浜松市立可美小学校

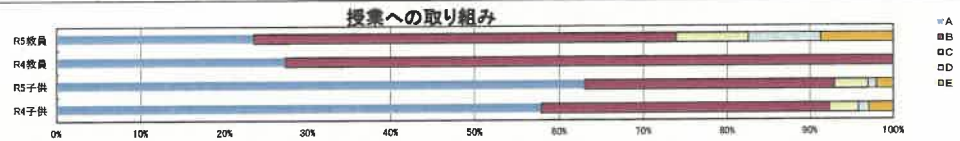
R5年度前期 子供・教員による学校評価 R4との比較

例 A：そう思う B：大体そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない E：わからない
 グラフは左からABCDEで表されています。

※R4は、教員のアンケートの「分からない」の選択肢をなくしました。昨年度と比較する場合、その点を考慮しています。

Q1 教員：子供たちは、楽しく授業に参加している。 子供：授業が楽しい

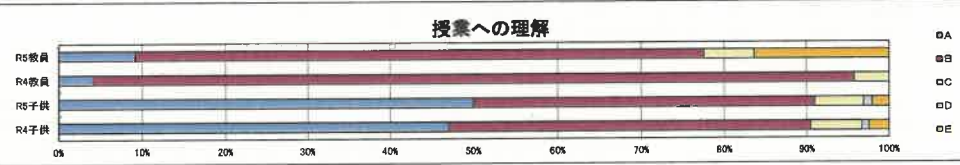
	R4子供	R5子供	R4教員	R5教員
A	57.9	63.0	27.0	27.0
B	34.5	30.0	72.0	58.0
C	3.5	4.0	0.0	10.0
D	1.2	1.0	0.0	10.0
E	2.9	2.0		10.0



2年とも子供も教員も90%以上が「楽しく授業に参加している」と答えています。しかし、子供の約5%は「授業が楽しくない」と答えている現実があることも事実です。単元構想の工夫をしたり教材研究したりすることで、意欲的に楽しく授業に参加できるように授業改善を進めていきたいです。

Q2 教員：子供たちは、授業の内容を理解できている。 子供：授業の内容がわかる。

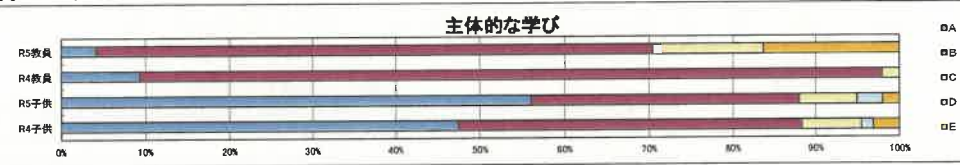
	R4子供	R5子供	R4教員	R5教員
A	47.1	50.0	4.0	9.0
B	43.5	41.0	90.0	67.0
C	6.3	6.0	4.0	6.0
D	0.8	1.0	0.0	0.0
E	2.4	2.0		16.0



子供も教員も「授業の内容が分かる」と答える割合が高く、昨年度とほぼ同じ結果です。「授業の内容が分からない」と答えている子供たちが7%程度おり、それらの子供たちにどんな支援をしていくか、個に合った支援をして、基礎的な学力を身に着けさせる研修をしていきたいです。

Q3 教員：子供たちは、自分の考えを持って進んで学習に取り組んでいる。 子供：自分の考えを持って、進んで学習に参加している。

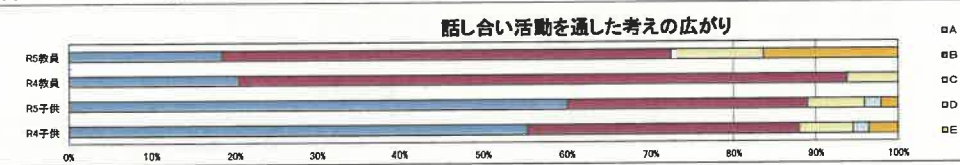
	R4子供	R5子供	R4教員	R5教員
A	47.4	56.0	9.0	4.0
B	40.9	32.0	86.0	65.0
C	7.2	7.0	2.0	13.0
D	1.4	3.0	0.0	0.0
E	3.1	2.0		16.0



子供の評価は、昨年度とあまり変わらず、87%程度が「考えをもって進んで学習に参加している」と答えています。教員は、昨年度と比べて低い評価となっています。引き続き研修主題である「自分の考えをもち、ともに学び合う子の育成」を目指し、研修を深めていきます。

Q4 教員：子供たちは、調べたり話し合ったりする活動を通して、自分の考えを広げようとしている。 子供：調べたり話し合ったりする活動に意欲的に取り組んでいる。

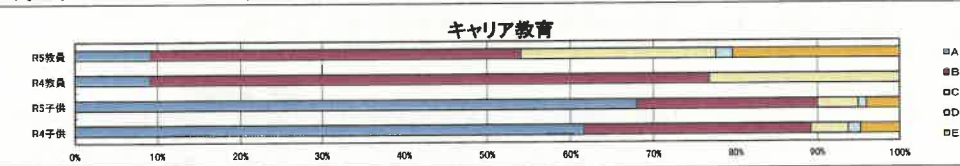
	R4子供	R5子供	R4教員	R5教員
A	55.2	60.0	20.0	18.0
B	32.7	29.0	72.0	53.0
C	6.6	7.0	6.0	11.0
D	1.9	2.0	0.0	0.0
E	3.5	2.0		16.0



子供は昨年度と大体同じ結果です。教員は昨年より低い評価となっています。主体的に調べたり話し合ったりする活動を通して、指導要領でねらう「主体的・対話的で深い学びの実現」に向け、本校の研修で求める単元構想の工夫と話し合いを深める活動を取り入れた授業改善に取り組んでいきたいです。

Q5 教員：子供たちは、キャリア教育の意義を理解し、今の活動と将来のことが関係していることを意識している。 子供：将来に向かって、今できることを頑張っている。

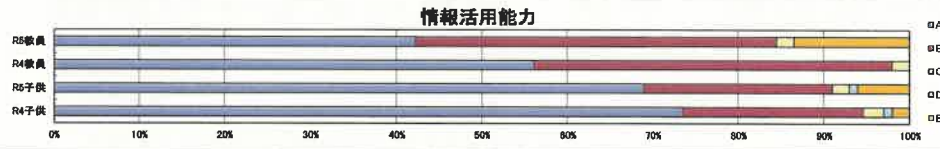
	R4子供	R5子供	R4教員	R5教員
A	61.5	68.0	9.0	9.0
B	27.6	22.0	67.0	44.0
C	4.6	5.0	23.0	23.0
D	1.5	1.0	0.0	2.0
E	4.7	4.0		20.0



子供は昨年度とだいたい同じ結果です。教員は昨年より低い評価となっています。キャリア教育を重点項目として研修に取り組んでいることが表れた結果である。今後も学校生活全般において、学習が将来に向けていろいろな場面で生きていく授業を心掛け、子供たちにもキャリア教育の意義が伝わるようにしていきます。

**Q6 教員：子供たちはICT教育に興味・関心をもち、情報活用能力が高まっている。
子供：タブレットを使った学習に興味・関心をもち、意欲的に取り組んでいる。**

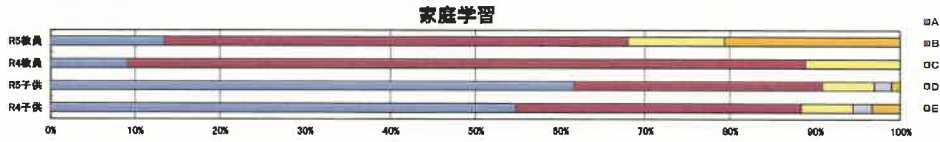
	R4子供	R5子供	R4教員	R5教員
A	73.5	69.0	55.0	41.0
B	21.0	22.0	41.0	41.0
C	2.4	2.0	2.0	2.0
D	1.0	1.0	0.0	0.0
E	2.0	6.0		13.0



子供も教員も、ICT教育に興味・関心をもっている割合が高い結果となっています。今後も研修を進め、情報活用能力を高めていく必要があり、情報モラル教育も積極的に行っていかなければなりません。

**Q7 教員：子供たちは、家庭学習の習慣が身に付いている。
子供：家庭学習に進んで取り組んでいる。**

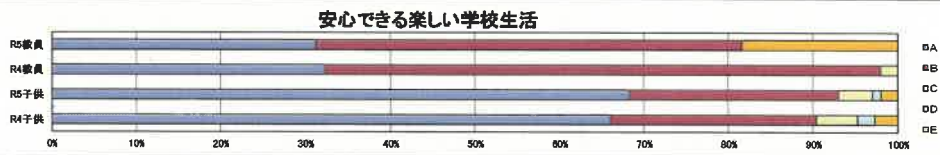
	R4子供	R5子供	R4教員	R5教員
A	54.7	61.0	9.0	13.0
B	33.6	29.0	79.0	53.0
C	6.1	6.0	11.0	11.0
D	2.2	2.0	0.0	0.0
E	3.3	1.0		20.0



子供も教員も、約85%が「家庭学習が身に付いている」と回答しています。子供たちの主体的な学びにつなげるためにも家庭学習は必要です。約10%の子供たちにどう家庭学習を習慣化させるのか、手立てを工夫したり家庭への協力を依頼したりしながら基礎的・基本的な学力を身に付けさせたいと思います。

**Q8 教員：子供たちは、安心して楽しく学校生活を送っている。
子供：安心して楽しく学校生活を送っている。**

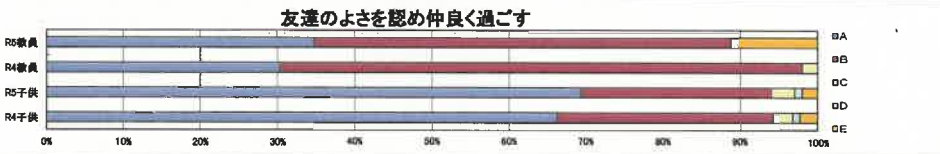
	R4子供	R5子供	R4教員	R5教員
A	66.1	69.0	32.0	34.0
B	24.3	25.0	65.0	55.0
C	4.9	4.0	2.0	0.0
D	2.0	1.0	0.0	0.0
E	2.7	2.0		20.0



90%近くの子供が「安心して楽しく学校生活を送っている」と回答しましたが、数%の子供たちは「そうではない」と回答しました。「楽しくない、安心できない」と答えた子供たちの気持ちに気づき、寄り添った支援ができると思います。

**Q9 教員：子供たちは、違う考えの友達とも尊重し合い、仲良く生活している。
子供：自分と考え方がちがっても、友達のよさをみとめ仲良く過ごしている。**

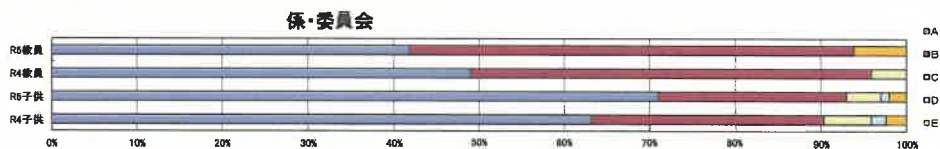
	R4子供	R5子供	R4教員	R5教員
A	66.2	70.0	30.0	34.0
B	28.0	25.0	67.0	53.0
C	2.6	3.0	2.0	0.0
D	0.9	1.0	0.0	0.0
E	2.3	2.0		11.0



子供も教員も「友達のよさを認め仲良く過ごしている」の割合が「だいたいそう思う」を合わせると95%を超えました。思いやりの気持ちをもって生活できている子供たちが多いことの表れだと思います。「仲良く過ごしていない」と答えた子供たちが、上手に関わっている周りの友達から関わり方を学ぶ機会が増えると思います。

**Q10 教員：子供たちは、係や委員会の仕事を一生懸命頑張っている。
子供：係や委員会の仕事を一生懸命頑張っている。**

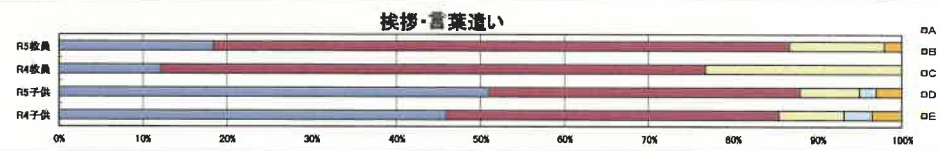
	R4子供	R5子供	R4教員	R5教員
A	63.2	71.0	48.0	41.0
B	27.2	22.0	46.0	51.0
C	5.5	4.0	4.0	0.0
D	1.7	1.0	0.0	0.0
E	2.4	2.0		6.0



90%以上の教員と児童が「係や委員会の仕事を頑張っている」と答えました。数%程度の「頑張っていない」と答えた子供たちに、今後、活躍の場を設定して、やりがいや達成感が感じられるようにしていきたいです。

**Q11 教員：子供たちは、明るい挨拶や正しい言葉遣いをしている。
子供：明るいあいさつや正しい言葉づかいをしている。**

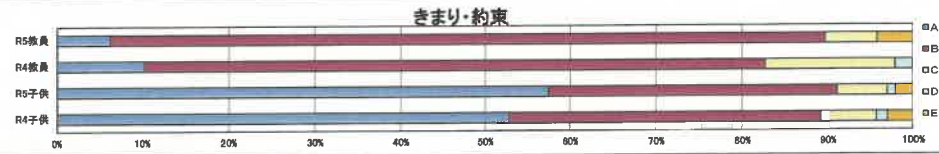
	R4子供	R5子供	R4教員	R5教員
A	46.0	51.0	12.0	18.0
B	39.5	37.0	64.0	67.0
C	7.7	7.0	23.0	11.0
D	3.3	2.0	0.0	0.0
E	3.5	3.0		2.0



前期の教員アンケートの中で昨年度と比較し一番評価が高くなりました。挨拶や言葉遣いは、基本的な生活習慣です。引き続き自分から挨拶ができる子供、明るい挨拶ができる子供、正しい言葉遣いができる子供が育つようにするにはどうしたらよいか教員、保護者、地域の人みんなで考えていきたいです。

**Q 12 教員：子供たちは、きまりや約束、マナーを守って生活している。
子供：きまりや約束、マナーを守って生活している。**

	R4子供	R5子供	R4教員	R5教員
A	52.7	58.0	10.0	6.0
B	36.4	34.0	71.0	81.0
C	6.6	6.0	15.0	6.0
D	1.3	1.0	2.0	0.0
E	2.9	2.0		4.0

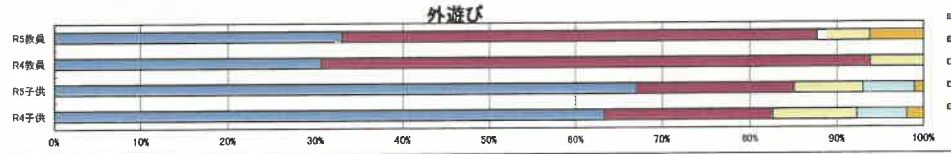


子供教員の評価が、昨年度よりも高くなっています。

ほとんどの子供たちはきまりを守ることができます。しかし一部の守れない子供たちにどう支援、指導していくのかをみんなで共通理解して、全職員同じ姿勢で指導していきたいと思ひます。

**Q 13 教員：子供たちは、体を動かしたり、外で遊んだりすることが好きである。
子供：体を動かしたり、外で遊んだりすることが好きである。**

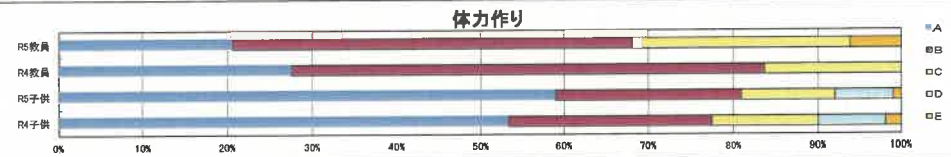
	R4子供	R5子供	R4教員	R5教員
A	63.3	67.0	30.0	32.0
B	19.3	18.0	62.0	53.0
C	9.7	8.0	6.0	6.0
D	5.8	6.0	0.0	0.0
E	1.9	1.0		6.0



子供によって運動の好き嫌いに差があります。「体を動かしたり外で遊んだりするのが好きではない」と回答した子供の割合が高いです。20%近くの子供が「好きではない」と答えています。外遊びの楽しさやよさを感じられるような活動や場を設定して子供たちの体力作りにつなげたいと思ひます。

**Q 14 教員：子供たちは、進んで外遊びや体力作りをしている。
子供：進んで外遊びや体力作りをしている。**

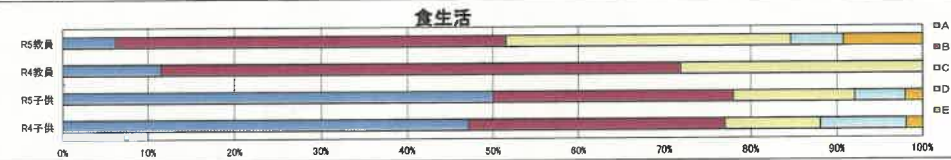
	R4子供	R5子供	R4教員	R5教員
A	53.3	59.0	27.0	20.0
B	24.2	22.0	55.0	46.0
C	12.5	11.0	16.0	25.0
D	8.1	7.0	0.0	0.0
E	1.9	1.0		6.0



Q 13に続いて「進んで外遊びや体力作りをしていない」の回答が高くなっています。さらに、教員の「あまりそう思わない」の割合も高くなっています。子供たちの体力低下が課題となっています。外遊びや体力作りをどう推奨していくのか、検討していきたいと思ひます。

**Q 15 教員：子供たちは、好き嫌いなく給食を食べている。
子供：好き嫌いなく食事をしている。**

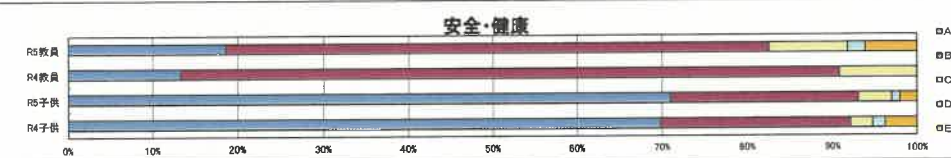
	R4子供	R5子供	R4教員	R5教員
A	47.1	50.0	11.0	6.0
B	29.9	28.0	58.0	44.0
C	11.0	14.0	27.0	32.0
D	10.1	6.0	0.0	6.0
E	1.9	2.0		9.0



子供も教員も評価が下がっています。食べ物の好き嫌いがある子への指導の難しさが表れる結果となっています。給食はいろいろな食材を使い、栄養のバランスを考えて作られています。行事食や地産地消なども考えられています。成長期の子供たちが健康に成長していくためにも食育をどう進めていくか考えていきたいと思ひます。

**Q 16 教員：子供たちは、安全や健康に気を付けて生活している。
子供：安全や健康に気を付けて生活している。**

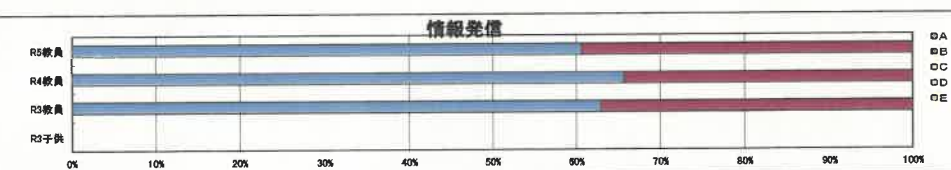
	R4子供	R5子供	R4教員	R5教員
A	69.8	71.0	13.0	18.0
B	22.3	22.0	76.0	62.0
C	2.6	4.0	9.0	9.0
D	1.5	1.0	0.0	2.0
E	3.8	2.0		6.0



子供も教員も評価は昨年度とあまり変わっていません。どの子供も安全や健康に気を付けて生活できていると思ひます。保護者の方への協力も不可欠なので、今後も家庭と連携しながら進めていきたいと思ひます。

Q 17 教員：学校は、たよりやさくら連絡網、ホームページ等を通して、必要な情報を発信している。

	R3子供	R3教員	R4教員	R5教員
A		62.9	65.0	60.0
B		37.1	34.0	39.0
C		0.0	0.0	0.0
D		0.0	0.0	0.0
E		0.0		0.0



学校では、定期的に学校だより・学年だより・保健だより・給食だより等を発行し、子供たちや保護者の皆様に情報発信しています。また、必要な情報は、メールや手紙で正確かつ迅速にお知らせできるようにしています。さらによりよい伝え方について今後も検討していきます。

学校経営構想を具現化する 特色ある教育活動について

- 1 異学年交流による自己有用感、思いやりの高まり
- 2 地域のもの、人に触れる活動を通して、可美のよさを知る
- 3 学習の成果を伝え、成就感を引き出す工夫
- 4 ICTの活用でみんなが参加し、わかる授業に
- 5 一人一人に応じた支援 校内発達支援教室 外国人支援
- 6 専門家を招き、社会とつながる実感を（キャリア教育）
- 7 教育活動を支えるボランティアの活躍



1 異学年交流による自己有用感、思いやりの高まり
「学ぼう！ふるさと可美」



1年生と6年生 ペア学年で活動
「思いやりのバトン」をつなぐ

2 地域のもの、人に触れる活動を通して、可美のよさを知る



「学ぼう！ふるさと可美」
地域の史跡や施設を見学



2 地域のもの、人に触れる活動を通して、可美のよさを知る

「学ぼう！ふるさと可美」可美協働センターでは、UDについて学びました。



3 学習の成果を伝え、成就感を引き出す工夫

「6年図工 `夜景を見に行こう！」

～1年生を招待し、作品を紹介～



3 学習の成果を伝え、成就感を引き出す工夫

「1年 国語 くちばしクイズ」

～自分で作ったクイズを
6年生に出題～



4 ICTの活用でみんなが参加し、わかる授業に



5年 算数 小数のわり算
～タブレットで
考えを伝えあう～



4 ICTの活用でみんなが参加し、わかる授業に

「6年 国語 短歌を作ろう！」 ～ジャムボードで瞬時に意見共有～



5 一人一人に応じた支援

校内発達支援教室（チャレンジ教室）/外国人支援



5 一人一人に応じた支援

発達支援学級（なかよし）
知的2学級 自・情3学級

通級指導教室（LD/言語）



6 専門家を招き、社会とつながる実感を（キャリア教育）

SDGS講座

（林業振興課・長田木材・スターバックス）

UD講座（区振興課）



6 専門家を招き、社会とつながる実感を（キャリア教育）

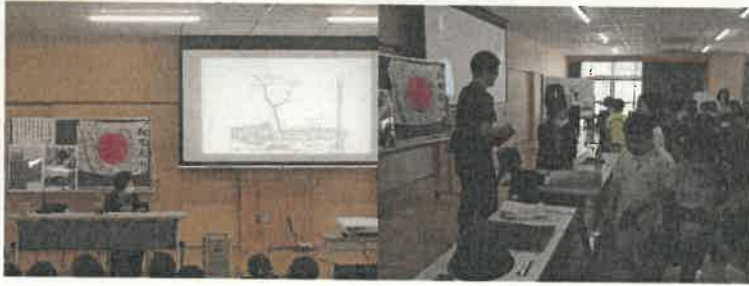
博物館講演～可美の歴史～

火おこし体験



6 専門家を招き、社会とつながる実感を (キャリア教育)

4年生 戦争体験を聞こう
地域の服部さんに戦争体験について語っていただきました。



6 専門家を招き、社会とつながる実感を (キャリア教育)

租税講座 (法人会)

法教室・(弁護士)



6 専門家を招き、社会とつながる実感を (キャリア教育)

筆文字講座



7 教育活動を支えるボランティアの活躍

図書ボランティア 「ブックファミリー」 読み聞かせ



7 教育活動を支えるボランティアの活躍

図書ボランティア 「ブックファミリー」 掲示・環境整備



7 教育活動を支えるボランティアの活躍

「花ボランティア」 花壇の整備

